

## ＜事務局報告＞

# 事務局報告

### 1. 行事報告

#### (1) 第36回研究大会報告

2021年12月11日（土）・12日（日）、東海大学の協力のもとオンラインで第36回研究大会が開催されました。

「社会経済システムが変容した時代における持続可能性とは」のテーマのもと、以下の3つのパネルディスカッションが開催されました。

パネルディスカッションⅠ 次世代研究部会

「デジタル化の諸課題」

パネルディスカッションⅡ 社会経済部会

「社会的経済セクターとSDGs」

パネルディスカッションⅢ 公共経済部会

「コロナ禍で変容した公益事業分野の持続性」

これらのパネルディスカッションの他に、大学院生による国際公共経済学会奨励賞の2報告、CIRIEC International 報告、4本の一般報告などが行われ、充実した大会となりました。

#### (2) 第10回春季大会報告

2022年3月19日（土）、岡山県立大学の協力のもと、オンラインで第10回春季大会が開催されました。

「ポストコロナ社会に向けて考える地域福祉」のテーマのもと、講演「ポストコロナ社会と地域共生社会」、シンポジウム「地域共生社会に向けた取り組み」が行われ、盛況のうちに大会を終えました。

#### (3) 次世代研究部会・第10回サマースクール

日時：2022年9月10日（土）

会場：武蔵野大学武蔵野キャンパス

一般報告4本に続いて、基調講演・連携報告が行われました。

### 2. 学会4賞の決定

学会4賞の審査委員会（楠田昭二委員長）が開催され、理事会で承認を得ました。12月10日の総会にて発表・表彰されました（敬称略）。

#### 第30回学会賞

応募者なし

#### 第22回尾上賞

応募者なし

#### 第13回奨励賞

受賞者なし

#### 第14回修士論文賞

応募者なし

### 3. 学会4賞について

本学会には4つの学会賞があります。以下を参照の上、奮ってご応募ください。提出先は、いずれも学会事務局です。

#### (1) 学会賞

- ・対象：若手研究者の学術書・研究書（一般書、新書類は対象外）とくに年齢制限は設けていませんが、著書等の刊行歴があまりない会員の方
- ・対象期間：2021年7月1日～2023年6月30日までに公刊された会員による著書等
- ・応募に際して、推薦書（自薦・他薦）、著書等を1冊お送りください。

#### (2) 尾上賞

- ・対象：既に実績を有する研究者の学術的研究等（学術書、研究書、一般書などの著書、および顕著な学会活動など）
- ・対象期間：2021年7月1日～2023年6月30日までに公刊された会員による著書等
- ・応募に際して、推薦書（自薦・他薦）、著書等を1冊お送りください。

#### (3) 奨励賞

大学院生（修士課程・博士課程）の発表について、数点に「奨励賞」を授与します。大学院生は、研究大

会発表に際して、この賞への応募が前提になります。

- ・応募資格：大学院修士課程・博士課程及びそれに準ずる者
- ・提出論文：本会投稿規定・要領による12,000字のフルペーパー3部
- ・締め切り：2022年9月10日（土）
- ・審査発表：2022年9月30日（金）までに事前審査による学会報告の可否を、本人に通知（9月30日（金）に報告が認められた方のみ、論文を提出していただきます。論文締切まで日数がないので早めにご用意ください）
- ・論文締切：2022年10月11日（火）（消印有効、3部郵送。同時にメール、添付ファイルで提出）

#### (4) 修士論文賞

春季大会で本学会の「修士論文賞」の審査、表彰を行います。

2022年度提出（含む前年、前前年度提出者）の修士論文が対象となります。募集等の詳しい内容は後日お知らせいたします。

### 4. 第37回研究大会〔12月3日（土）、4日（日）福山大学〕のお知らせ

#### (1) 大会趣旨

SDGsや2050年カーボンニュートラル目標等エネルギーや環境に関し国際的な取り組みやわが国での野心的な取り組みへのかじ取りが実施される中、政府の後押し支援策も得、これらの動きは地域でも展開が図られようとしている。このような中で地域に根差したエネルギー企業や地域金融機関が音頭を取って地域の企業活動に支援を行う動きも活発化している。

本研究大会ではこれらの地域での支援取り組み実態やそれにまつわる諸課題を洗い出し、エネルギーや環境の目標を円滑・持続的に実施するための方策について議論、提言を得るものである。特にロシアによるウクライナ侵攻に起因した世界のエネルギー資源供給面での変容のもと、2050年カーボンニュートラル目標等のこれまでのエネルギー・環境政策に加え経済安全保障の観点も加味して対応すべきエネルギー経済活動のあり方にも触れつつ、異次元前提の公共経済のあり

方を探っていききたい。

第37回研究大会実行委員長 楠田昭二（福山大学）

#### (2) 大会開催要領

日程：2022年12月3日（土）・4日（日）

テーマ：「SDGsやカーボンニュートラル目標に向けての課題と展望－異次元前提の公共経済を探る」

会場：福山大学 社会連携推進センター

実行委員長：楠田 昭二（福山大学）

#### (3) 大会プログラム（案）：調整中

〈最新の情報は学会HPをご参照ください〉

### 5. 新役員（2022年度・2023年度）

会長 中村伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学）

副会長 金子 勝規（大阪公立大学）

草薙 真一（兵庫県立大学）

田端 和彦（兵庫大学）

西田 亮介（東京工業大学）

顧問・名誉会長 仲上 健一（立命館大学）

顧問 柴田 弘文（大阪大学名誉教授）

三浦 宏一（一般社団法人WICC）

事務局長 伊藤 昭浩（名古屋学院大学）

常任理事 穴山 悌三（長野県立大学）

齊藤由里恵（中京大学）

理事

穴山 悌三（長野県立大学）

有賀 敏之（大阪公立大学）

生貝 直人（一橋大学）

伊藤 昭浩（名古屋学院大学）

今村 肇（東洋大学）

植野 一芳（大東文化大学）

小熊 仁（高崎経済大学）

尾田 基（國學院大学）

柏木 恵（キヤノングローバル戦略研究所）

片桐 徹也（東洋大学）

金子 勝規（大阪公立大学）

菊池 尚人（慶應義塾大学）

北島 健一（立正大学）

草薙 真一（兵庫県立大学）

楠田 昭二（福山大学）  
栗本 裕見（大阪公立大学）  
斎藤 文彦（龍谷大学）  
西藤 真一（島根県立大学）  
齊藤由里恵（中京大学）  
柴田 学（関西学院大学）  
高松 宏弥（武蔵野大学）  
竹澤 康子（東洋大学）  
巽 直樹（KPMG コンサルティング株式会社）  
田端 和彦（兵庫大学）  
手塚広一郎（日本大学）  
長峯 純一（関西学院大学）  
中村伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学）  
西田 亮介（東京工業大学）  
西村 陽（大阪大学）  
野村 実（大谷大学）  
野村 宗訓（関西学院大学）  
花田 真一（弘前大学）  
久末 弥生（大阪公立大学）  
福田 晴仁（桃山学院大学）  
藤井 大輔（東京交通短期大学）  
前田 尚子（関東学院大学）  
松原 聡（東洋大学）  
森 由美子（東海大学）  
八木橋慶一（高崎経済大学）  
矢島 正之（電力中央研究所）  
安本 宗春（追手門学院大学）  
山田 航（名古屋学院大学）  
Pimprapa Yodtomorn（茨城キリスト教大学）  
和田 尚久（東洋大学）

#### 監事

水田 健一（名古屋学院大学）  
西川 直孝（大阪公立大学）

#### 6. 学会誌投稿規定・執筆要領

##### 『国際公共経済研究』投稿規定

- (1) 『国際公共経済研究』は、「査読付き論文」、「研究ノート」、「図書紹介」、「随筆」等の投稿を受け付けています。なお「査読付き論文」、「研究ノート」は、以下の論文執筆要領に従って執筆してください。
- (2) 『国際公共経済研究』に掲載されるすべての文書の著作権は、原則として本会に帰属するものとします。ただし著作者が、掲載された文書を他の著作物に収録・転用する場合には、メール（office@ciriec.jp）にて事務局に通知を行い、本会の許諾を得るものとします。原則として、申し出について、すべて無償で許諾することといたします。
- (3) 『国際公共経済研究』に投稿する文書は、ニューズレターなどで告知した内容に従い、郵送で提出することとします。学会事務局から、概ね1週間以内に受領メールを出します。返信のない方は、事務局までお問い合わせください。
- (4) 自由論題論文を投稿するには、毎年12月の研究大会、3月の春季大会、部会での報告が必須条件となります。

##### 『国際公共経済研究』論文執筆要領

- (1) 本誌は、年1回以上刊行し、その都度論文等をニューズレター等で公募する。
- (2) 投稿は、正会員、および特別会員の法人に所属する者、および編集委員会が適当と認めた者に限り認める。また、研究大会報告者には、投稿をお願いする。
- (3) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード（5語程度）を日・英文で明記する。また、英文要旨（5行程度）を必ずつける。
- (4) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (5) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (6) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示す

る。

(7) 注は文中の肩に（注1）のように記し、論文末尾にまとめる。

(8) 章・節は、1、2、1）、2）、(1)、(2)の記号による。

(9) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。

著書（単独）の場合

執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ

著書（複数）の場合

執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ

論文の場合

執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、引用ページ

(10) 投稿原稿の採否は、編集委員会の下におかれる論文審査制度に基づいて行う。

(11) 論文の他、書評、図書紹介等についても投稿を受け付ける。

(12) 論文等は、学会事務局宛、郵送にて投稿する。事務局より1週間以内に受領を確認した旨のメールをお送りします。返信のない方は事務局までお問い合わせください。

学会情報は、最新のものをホームページ <http://ciriec.com/> に掲載していますので、適宜ご参照ください。